

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.84
2014.9

くしろ丹頂

「一日ホクレン」意見交換会



C O N T E N T S

- 「JAグループ北海道改革プラン」に係る組合員組織討議 — 1
- 「一日ホクレン」意見交換会 — 2
- 第16回 北海道総合畜産共進会 — 3
- 農業農村フェア in KUSHIRO — 4
- 釧路管内JA女性部員交流会
女性部鶴居支部野菜即売会 — 5
- 普及センターだより — 6
- 理事会報告 / 生乳生産実績 / 退職者 — 7



女性部白糠支部により綺麗に整備された花壇
(白糠支所茶路事務所前)

「JAグループ北海道改革プラン」 に係る組合員組織討議を実施



八月二十五日、本所で「JAグループ北海道改革プラン」に係る組合員組織討議が行なわれました。

当JA青年部・女性部・酪農振興会・和牛改良組合の代表・連合会（JA北海道中央会根釧支所、JA北海道信連釧路支所、JA共済連北海道釧路支所、ホクレン釧路支所）職員・JA役職員計三十一名が参集し、JA北海道中央会等から「たたき台」となる改革プラン組合員組織討議内容について説明がありました。

中央会から、改革プラン策定に至る経緯・農協改革の方向・改革の目的「農家の所得向上」「地域サービスの安定的提供」・JAグループ北海道の使命である「食の安全・安心・安定」・

収益向上とコスト削減・時代に即した協同組合の改革へ向け今後さらに取組むべき課題等について説明がありました。

参集した各団体の代表及び理事からは、「現在のグローバル化に対抗しうる組織体制づくりが必要」「現場の声を真剣に聞き労働しやすい環境作り」「組合員に対しメリットの出る指導を望む」「組合員のJA離れへの対応をグループ全体で取り組む必要性がある」「これから営農していく上で安心して営農できるシステム作りを望む。」など多くの貴重な意見が出されました。

今回の意見要望等は、理事会で集約され地区組合長会へ報告されます。



「一日ホクレン」
JAくしろ丹頂・ホクレン意見交換会

当J A青年部・女性部・酪農振興会・和牛改良組合の代表：ホクレン釧路支所・帯広支所職員・J A役職員計三十九名が参加し、ホクレン釧路支所（酪農課・畜産生産課・生産資材課・農機燃料自動車課・パールラ

意見交換では、「初生価格の動向について」「草地更新事業に対する組合員メリットの追及」「現場を支える現場重視の事業推進」「健康的な牛と牛乳の生産に向け地域の状況に応じた良質粗飼料確保への取り組み強化」「過去の問題点を把握し北海道酪農にあった事業推進」「ジョイライフへの対応」「労働力確保に向けての対策を望む。」等、多くの意見要望が出され、回答を得る事が出来、大変意義のある意見交換会となりました。



第16回 北海道総合畜産共進会



山田 恵理実 さん（白糠）



手塚 信幸 氏（鶴居）



松井 紀行 氏（幌呂）



入賞牛一覧表

部	順位	名	号	出品者	地区
1部	1等4席	しすか	25	手塚 信幸	鶴居
4部	3等	ゆりかつ	25	手塚 信幸	鶴居
6部	3等	みつな	23	手塚 信幸	鶴居

入賞馬一覧表

部	順位	名	号	出品者	地区
4部	3等	ツルノジョウオー		松井 紀行	幌呂
4部	3等	オオゾラヒメ		山田恵理実	白糠



九月六・七日、十勝農協連家畜共進会場（音更町）で第十六回 北海道総合畜産共進会が開催されました。

全道から肉用牛143頭・馬53頭が出場し、審査員は（肉用牛部門）（公社）全国和牛登録協会 池田和徳氏、（馬部門）（独）家畜改良センター 岡明男氏他が務めました。

当JAからは、3農場より肉用牛3頭・馬2頭が出品され、高レベルの

牛と馬がそろうなか健闘をみせました。

肉用牛の部・最高位は平取町・楠木一史氏、加集昭知氏の出品牛「ゆりあん・ゆりかつじ・しげかねやす」（8部同一父牛3頭一群）、馬の部・最高位は上士幌町・鈴木義尚氏の出品馬「ウイナークイン」（4部3才以上雌子付・日本輓系種）が選ばれました。

主な成績及び出品者は表の通りです。



第11回 釧路大漁どんぱく内 「農業農村フェア in KUSHIRO」において 根釧牛乳・乳製品の消費拡大運動を実施!! (釧路地区農協青年部協議会・JA釧路地区女性協議会)



好評!!コツコツミルクとチーズいももち

九月六、七日の両日、釧路市観光国際交流センター前で「第11回釧路大漁どんぱく」が開催され、「農業農村フェア in KUSHIRO」会場では、釧路地区農協青年部協議会・JA釧路地区女性協議会が根釧牛乳・乳製品等の消費拡大運動を実施しました。

釧路大漁どんぱくに来場した多くのお客様方に、釧路地区農協青年部協議会は「よつ葉特選根釧牛乳」の無料試飲等を、J

A 釧路地区女性協議会はコツコツミルク（キウイ酢エキスに根釧牛乳を加えたもの）とチーズいももちのセットを特価で販売し、牛乳・乳製品のおいしさを伝えました。

JA 釧路地区女性協議会で活動した吉田鈴子さん（当JA女性部部長）は、「今年は天気にも恵まれ、コツコツミルクとチーズいももちの売れ行きも好調です。今後も乳製品の消費が伸びるように活動をしていきます」



多くの親子連れが参加した搾乳体験



根釧牛乳のおいしさを皆様へ!!

いです。」と述べました。

釧路地区農協青年部協議会で活動した瀬戸賢成さん（当JA青年部部長）は、「地元根釧牛乳のおいしさを多くの皆さんに伝えていき、今回実施したモデルカウ搾乳体験やばっかんロールお絵かきコーナーなどを通して、酪農についてより理解してもらえよう今後も活動を進めていきたい。」と述べ、牛乳の消費拡大と酪農についての理解促進を図りました。

釧路管内J A女性部員交流会開催

八月一日、釧路パレスボウルで、釧路管内J A女性部員交流会が開催されました。

管内の各J Aより女性部員・子供・事務局・関係者合わせて六十八名、うち当J A女性部から二十三名が参加し、ボウリングで交流を深めました。

単組混合・四名一組の各チームに分かれた部員達は、ボ



昼食交流会の様子



ボウリングで一喜一憂

ウリングのピンが勢い良く倒れるたびに歓声が上がリ、楽しいひと時を過ごしました。

ボウリング終了後は、場所を移動し昼食会が行なわれ、各テーブルに分かれて他のJ A部員達と昼食をとりながら意見交換を行ない、親睦を深めつつ大変有意義な時間を過ごしました。

おいしい野菜を提供!! 女性部鶴居支部

「野菜即売会」を開催

九月十日、Aコープつるい店前で、J A女性部鶴居支部は野菜即売会を開催しました。

部員達が、ここをを込めて作った自家産野菜（大根・じやがいも・とうきび・人参・ラディッシュ・ズッキーニ・ミニトマトなど二十種類以上）が並んだ店頭は、多くのお客様で賑わいました。

松下いち子支部長は、「今年、野菜の出来は全体的に良好で種類もそろいました。野菜作りは部員達の励みになっているとともに、地元の皆様方に食べて頂くことに喜びを感じております。来年へ向けよりおいしい野菜づくりを目指してがんばります。」と意気込みを聞かせて頂き、即売会は盛況のうちに終了しました。



店頭に並んだ新鮮な野菜の数々



とれたての野菜を提供!!

土壌pHを測定し、適正なpHに改善しましょう！

土壌のpHを測定することにより、草地土壌のpHの低下度合いを知ることが出来ます。土壌のpHが下がることにより、一部養分吸収量が不足し、そこに育つ牧草の収量や栄養価、牛の嗜好性にも影響が出てきます。

土壌のpHが適正值より低いときは、石灰資材等で適正pHに改善します。（維持草地の適正pHは五・五～六・五）

経年的に土壌の

低pH化が進む

牧草地には肥料を散き続けると少しずつpHの低下が進みます。

この理由としては、

①化学肥料に含まれる硫酸イオン（アニオン）が増えてpHを下げます。

②大雨によるカルシウムやマグネシウムなどの流亡。

③牧草によるカルシウムの吸収量が多いこと。

等がいわれています（図1）。

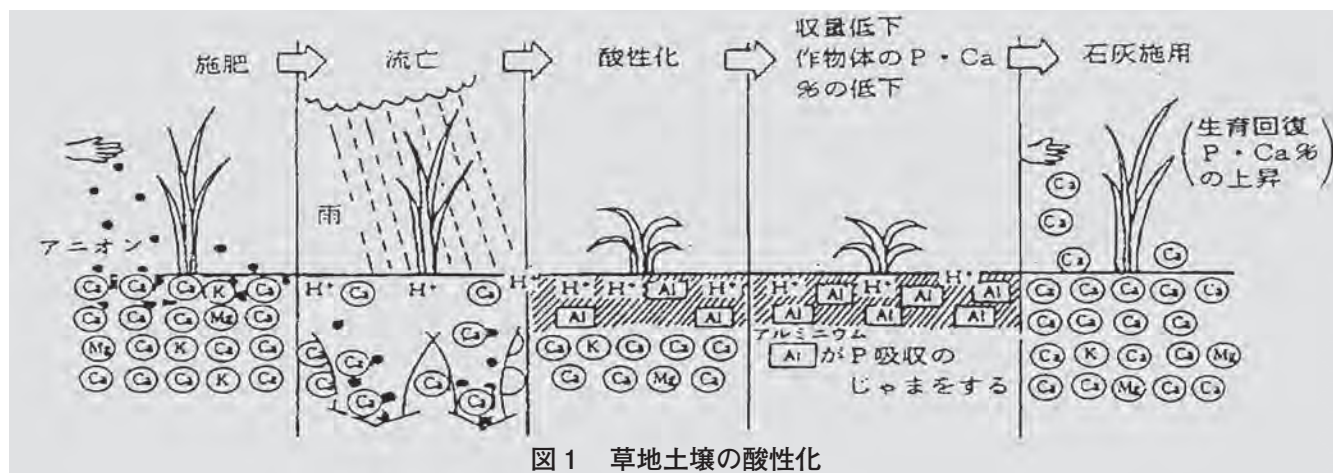


図1 草地土壌の酸性化

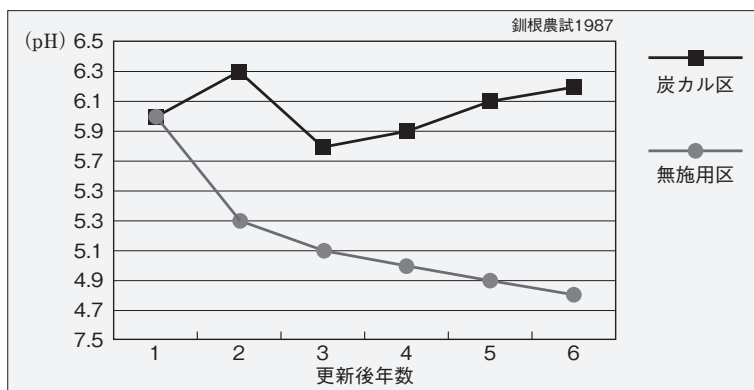


図2 タンカル施用・無施用による経年変化（土壌pH）

石灰資材による

適正pHへの改善効果

タンカルや消石灰などの石灰質資材を入れると、ほ場pHが下がるのを防ぐことができます（図2）。また、牧草のリン酸、カルシウム等の養分吸収が改善され収量も維持することができます（図3）。

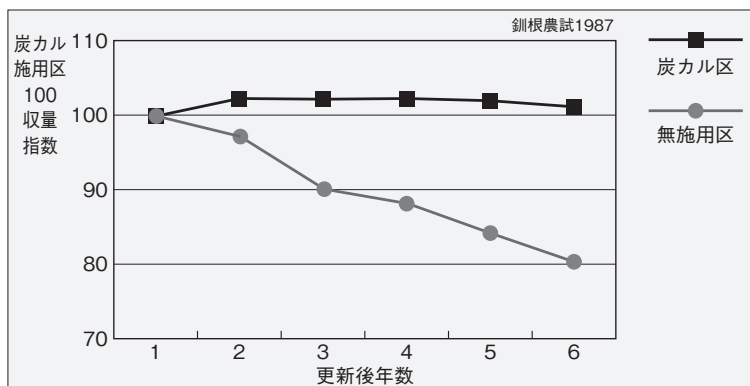


図3 タンカル施用・無施用による経年変化（収量）

pH測定と酸度矯正は

四～六年おきを目途に

マメ科牧草を含む混播草地では、マメ科率など植生を維持するため四年～六年おきには土壌pHを測定し、必要であれば石灰追肥を行います。



理 事 会 報 告

8月定例理事会 平成26年8月25日（月）

報告事項

- 1. 専決事項及び諸会議について
- 2. 各委員会・諸会議等について
- 3. 内部審査の結果について
- 4. 7月末財務状況について
- 5. 事業の実施処理状況について

- 議案第3号 全国酪農業協同組合連合会への出資について
- 議案第4号 理事と組合との契約承認について
- 議案第5号 ホクレントラック音別事業所の閉鎖及び同白糠事業所トラックの増車について

※以上全件原案通り承認されました。

付議事項

- 議案第1号 平成26年度生乳生産向上対策事業要領の制定について
- 議案第2号 融資の承認について

その他協議事項

- 1. 当面の業務日程について

■平成26年度	生乳生産実績（8月）			
	月計乳量（kg）	8月前年比(%)	累計乳量（kg）	累計前年比(%)
釧路丹頂農協	8,065,436.9	98.0	41,511,888.8	96.7
（鶴居地区）	2,696,309.1	97.0	13,928,007.2	97.8
（幌呂地区）	2,172,355.2	98.2	11,072,150.4	95.9
（白糠地区）	1,672,943.5	95.6	8,776,708.3	93.0
（音別地区）	1,523,829.1	102.5	7,733,022.9	100.4
管内計	43,881,471.7	97.7	221,925,155.2	96.1
（前年度管内計）	44,895,677.0		230,958,019.1	

大変お世話になりました。	政 木 春 実
	幌呂支所 牧場課幌呂育成牧場考査役 8月31日をもって退職しました。

編集後記
EDITOR'S NOTE

- 秋へと向かうにつれて、昼と夜の寒暖の差が激しくなってきます。季節の変わり目は、自律神経が乱れやすいと言われ、寒暖差も影響し体調を崩す人が増加してきますので、体調管理には十分気を付けてまいりましょう。
- これからデントコーン等、粗飼料収穫時期に入ってまいります。良質粗飼料の収穫に向け、台風・強風・長雨など警戒していかなければならない点は多々ありますが、実りの多い秋となることを強く望むところです。